

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	211	3年	前期	看護学科	必修	成人急性期看護方法論 Acute Care Nursing Methods	30	1
担当教員								
宮宇地 秀代	仲田 琴美	高橋 博子		松井 美由紀		仲田 由美		
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
急性期における成人患者の看護実践を理解するために、講義および事例に合わせたシミュレーション演習を通して、生体侵襲によって起きる生体反応や患者の心身の回復過程に応じた看護に必要な専門的知識・技術を獲得する。								
到達目標（授業目標）								
①急性期における患者の特徴を説明できる。								
②生体侵襲によって起きる生体反応を説明できる。								
③周手術期過程に応じた生体反応を説明できる。								
④術後合併症のリスクと予防を説明できる。								
⑤急性期看護を提供するための必要な技術を根拠に基づき説明できる。								
⑥事例を通して知識や技術を統合し、急性期における必要な看護を説明できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	授業ガイダンス・急性期看護の概要：急性期における患者の特徴について講義する。（宮宇地秀代）							
2回	周手術期看護の概要：手術侵襲による身体的変化と心理的变化について講義する。（松井美由紀）							
3回	周手術期看護の看護過程（1）：術前看護について講義および演習をする。（宮宇地秀代）							
4回	周手術期看護の看護過程（2）：ドレーン管理について講義および演習をする。（仲田琴美）							

5回	周手術期看護の看護過程 (3) : 術中看護について講義をする。(仲田琴美)						
6回	クリティカルケア看護 (1) : 循環不全、呼吸不全について講義する。(宮宇地秀代)						
7回	周手術期看護の看護過程 (4) : 手術を受ける患者の看護課題とケアについて演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
8回	周手術期看護の看護過程 (5) : 手術を受ける患者の看護課題とケアについて演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
9回	周手術期看護の看護過程 (6) : 術後合併症とそれに合わせた観察点について演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
10回	周手術期看護の看護過程 (7) : 術後合併症とそれに合わせた観察点について演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
11回	クリティカルケア看護 (2) : 救急看護について講義する。(松井美由紀)						
12回	周手術期看護の看護過程 (8) : 手術を受ける患者の術後観察について演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
13回	周手術期看護の看護過程 (9) : 事例の患者に合わせてストーマケアの演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
14回	周手術期看護の看護過程 (10) : 事例の患者に合わせて退院支援について演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
15回	周手術期看護の看護過程 (11) : 事例の患者に合わせて退院支援について演習をする。(宮宇地秀代、仲田琴美、高橋博子、仲田由美)						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
筆記試験 (70%)、授業・学習課題の取り組み (30%) で評価し、60点以上を合格とする。							
教科書	雄西智恵美ほか編「周手術期看護論 第3版」(ヌーヴェルヒロカワ)、吉田澄江ほか編「ナースングラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得」(メディカ出版)						
参考図書等	授業で紹介する。						
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)							
予習: 授業ガイダンスにて、E-stusy・教科書・ナースングラフィカを用いた学習課題を提示する。課題に取り組み、理解できない箇所を明確にする。 復習: 教科書、講義資料、関連図書などを用いて、学習した内容を振り返り、理解を深める。							
関連科目							
前科目	210	成人看護対象論					
後科目	214	成人看護学急性期実習	241	看護アセスメントII			
実務家教員							
看護師 (医療機関)	宮宇地 秀代	仲田 琴美	高橋 博子	松井 美由紀	仲田 由美		
備考							